

垂直コンクリート運搬設備「改良型テルハ」

テルハクレーンの改良で垂直搬送と水平搬送を分離し、コンクリートを大量運搬

情報化施工技術

施工設備

特殊施工技術

再生技術

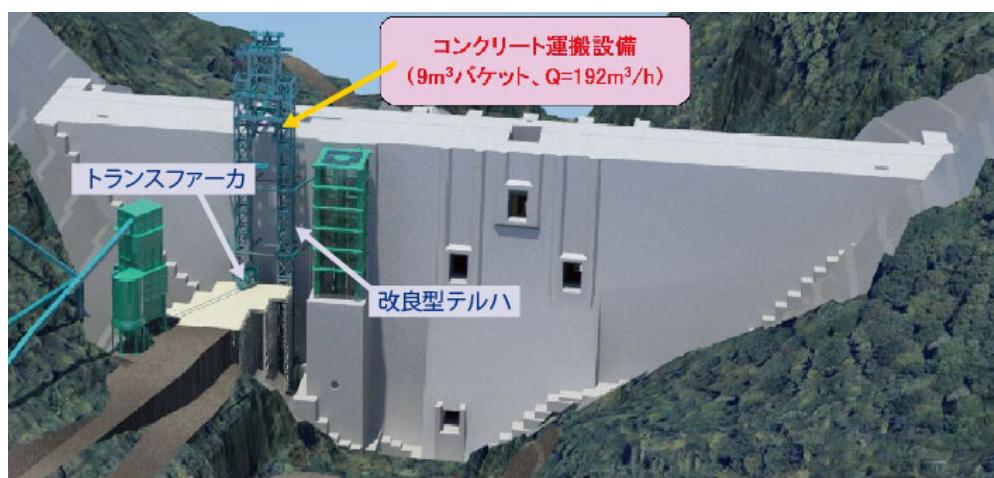
環境技術

お客様のメリット

- 垂直バケットと水平バケットが分離してそれぞれ単独でコンクリートを運搬するので、サイクルタイムを大きく短縮することができます。
- 国内最大級の9m³バケットを使用して運搬することで、大量・高速運搬能力を実現できます。

技術の特徴

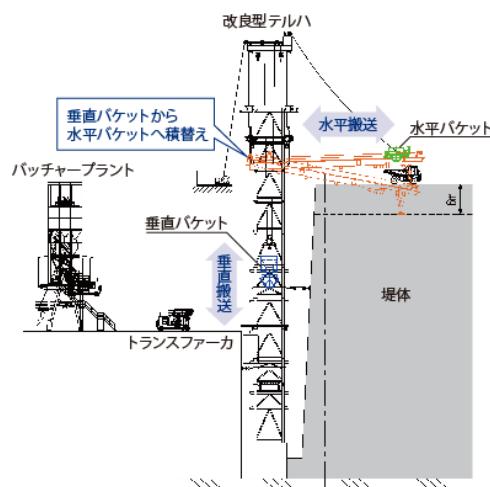
垂直搬送と水平搬送を分離し、サイクルタイムを改善することにより、国内最大級のコンクリート運搬能力を実現します。垂直バケットで上部へコンクリートを運搬し、水平バケットへ移し替えて堤体へ運搬します。水平搬送部の傾斜を変える（最大6m）ことで、堤体の打設進歩に合わせて運搬を行うことができます。



大規模コンクリートダム工事における配置例

改良型テルハ

ダム建設現場に使用されている既存の運搬設備（タワークレーンやケーブルクレーン）は「巻上・巻下と旋回」や「巻上・巻下と横行」といった複数の動作の組合せでコンクリートを運搬しています。本設備は垂直搬送と水平搬送を分離した独立の動作とし、トランシーファーカーから垂直バケット、垂直バケットから水平バケットに積替えて運搬します。



改良型テルハ打設イメージ図

実績・事例

基本設計完了